

- 関東運輸局プレスリリース -

平成 30 年 10 月 3 日

**平成 30 年 9 月 20 日《持続的な人材確保・育成体制の構築》を
テーマに「中小造船業・船用工業経営技術講習会」を開催しました！**

関東運輸局は、平成 30 年 9 月 20 日(木)、横浜第 2 合同庁舎 共用第 2 会議室において「平成 30 年度中小造船業・船用工業経営技術講習会」を開催しました。

本講習会は、管内の中小造船・船用工業関連団体(関東船用工業会・(一社)関東小型船舶工業会・関東船舶電装協議会・他 10 団体)の会員企業を対象に、経営の安定化対策の一環として、経営の合理化と技術の向上に役立つ知識を習得する機会を提供するために毎年度実施しています。

今年度の講習会では、国土交通省の審議会において、対処しなければならない諸課題のうちの 1 つとして取り上げられている「日本人技能者の確保・育成」に焦点をあて、地域の実態を考慮したうえで、「育成」と「確保」をテーマに講演を企画したところ、18 社、25 人に参加頂きました。

まず、「育成」については、「若手技能者の育成について 一東日本造船技能研修センターの取組」と題し、新卒・中途採用者の即戦力化のための座学・実技研修、中堅技能者への専門技能研修など、効率的な訓練を実施されている東日本造船技能研修センターの理事長兼校長 城田正治氏をお迎えし、特に、新人研修での基本的な資格取得と研修修了後に即戦力として活躍するためのカリキュラム構成、そして、ものを作る喜びと尊さ、楽しさや社会人としての心構えなどを、座学や実習を交えて実施していることなどを紹介いただきました。

また、「確保」については、「連携型インターンシップによる人材確保(基本編)・(実践編)」と題し、かつて密接な関係を有していた地域における造船業界と教育機関との人的ネットワークを再構築し、優秀な人材の確保につなげることを目的として国土交通省が作成した「造船事業者等の地域連携によるインターンシップ等実施ガイドンス」を活用し、日総工産株式会社の経営企画部 小塚治彦氏をお迎えしてご講演をいただきました。

まず、(基本編)では、連携したインターンシップを実施することにより、一社単独ではマスコミ等に取り上げられにくかった取組が広く地域にアピールされ、「業界全体の魅力・参加事業者の魅力・仕事の魅力」としても注目されるというメリットがあり、また、インターンシップを人材確保の有効なツールと認識しながらも、単独で実施できなかった事業者も、連携によるメリットの享受が期待できるなどのお話をいただきました。

さらに、(実践編)では、一社単独で実施する場合と対比し、その企画手順に配慮すべき事項に焦点をあててご説明いただき、また、インターンシップで連携しやすいタイプ別に分類できるフローチャートを用いて、参加いただいた事業者毎に「タイプ診断」を実施しました。

なお、後日、連携タイプ別の結果をお知らせすることとしていますので、今後の「地域連携型インターンシップ」を実行する「きっかけ」になることを期待しています。

関東運輸局では、今後も中小造船業・船用工業の経営安定化に繋がるよう、引き続き取り組んで参ります。

左) 講師：東日本造船技能研修センター理事長／校長 城田公治 氏

右) 講師：日総工産株式会社 経営企画部

小塚治彦 氏



講演風景



【問い合わせ先】

関東運輸局海事振興部船舶産業課 担当：小林・北田

電話：045-211-7223

FAX：045-201-8788



(配布先) 横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、都庁記者クラブ、物流専門紙

C to Sea プロジェクト

海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。

ポータルサイト「海ココ」→

